

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年6月30日

都道府県知事

川勝 平太 殿

提出者

住所 静岡市駿河区南八幡町25番25号

氏名 エコライン 株式会社

代表取締役社長 藤本 剛

電話番号 054-289-6650

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	エコライン 株式会社
事業場の所在地	静岡市駿河区南八幡町25番25号
事業の種類	建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

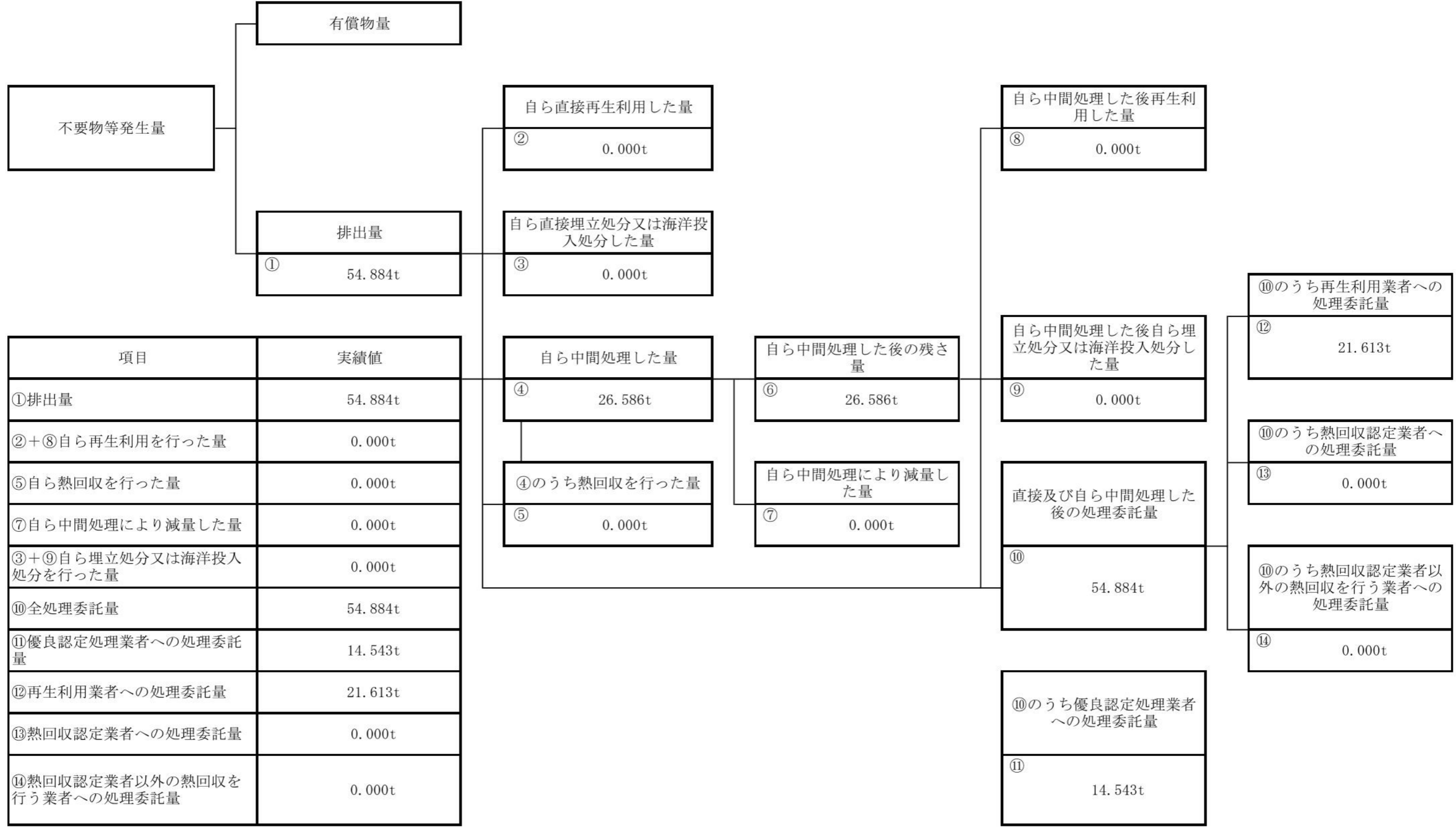
項目	目標値	項目	目標値
排出量	18,736.000 t	全処理委託量	18,736.000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	437.000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	18,264.500 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

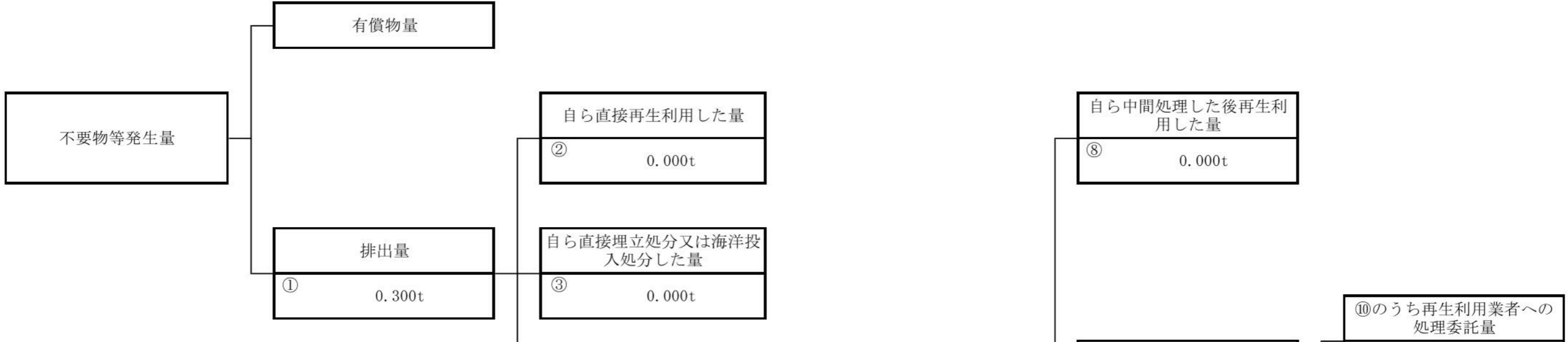
(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 廃プラスチック類 )



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類 : 紙くず )

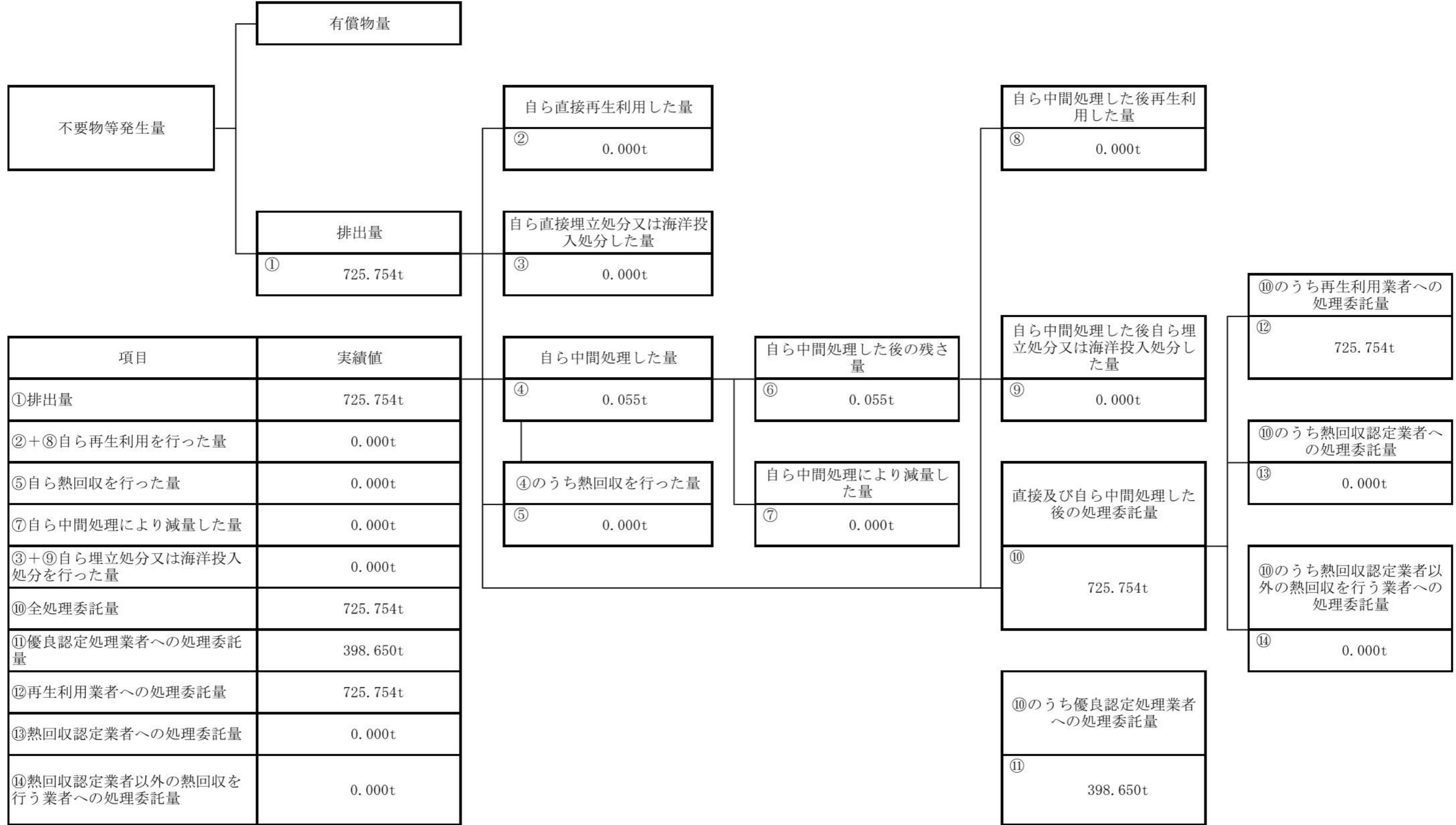


項目	実績値
①排出量	0.300t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	0.300t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.300t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

自ら直接再生利用した量	② 0.000t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③ 0.000t
自ら中間処理した量	④ 0.300t
自ら中間処理した後の残さ量	⑥ 0.300t
自ら中間処理した後再生利用した量	⑧ 0.000t
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨ 0.000t
自ら中間処理により減量した量	⑦ 0.000t
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩ 0.300t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 0.300t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0.000t
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0.000t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 0.000t

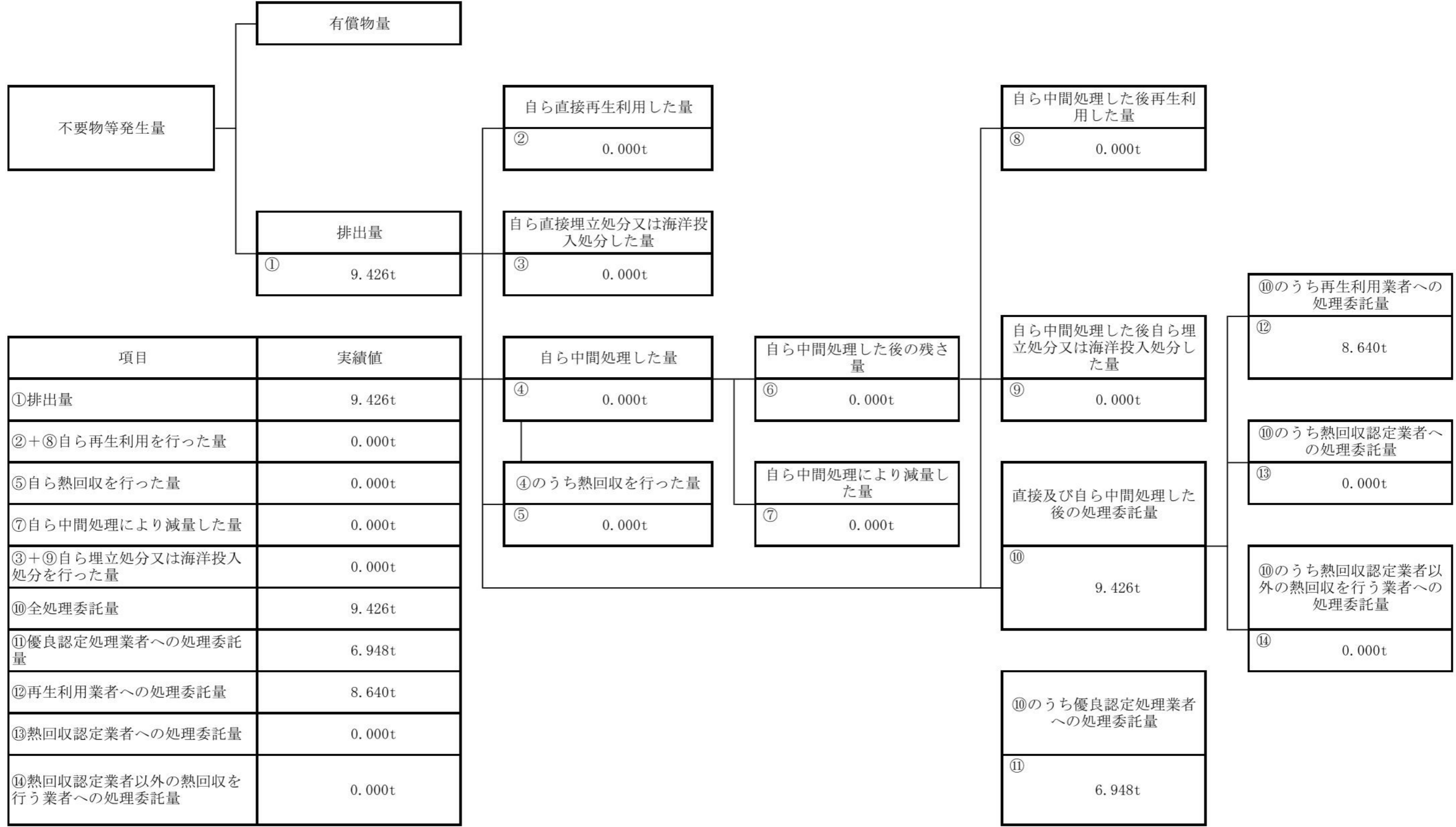
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 建設工事の木くず )



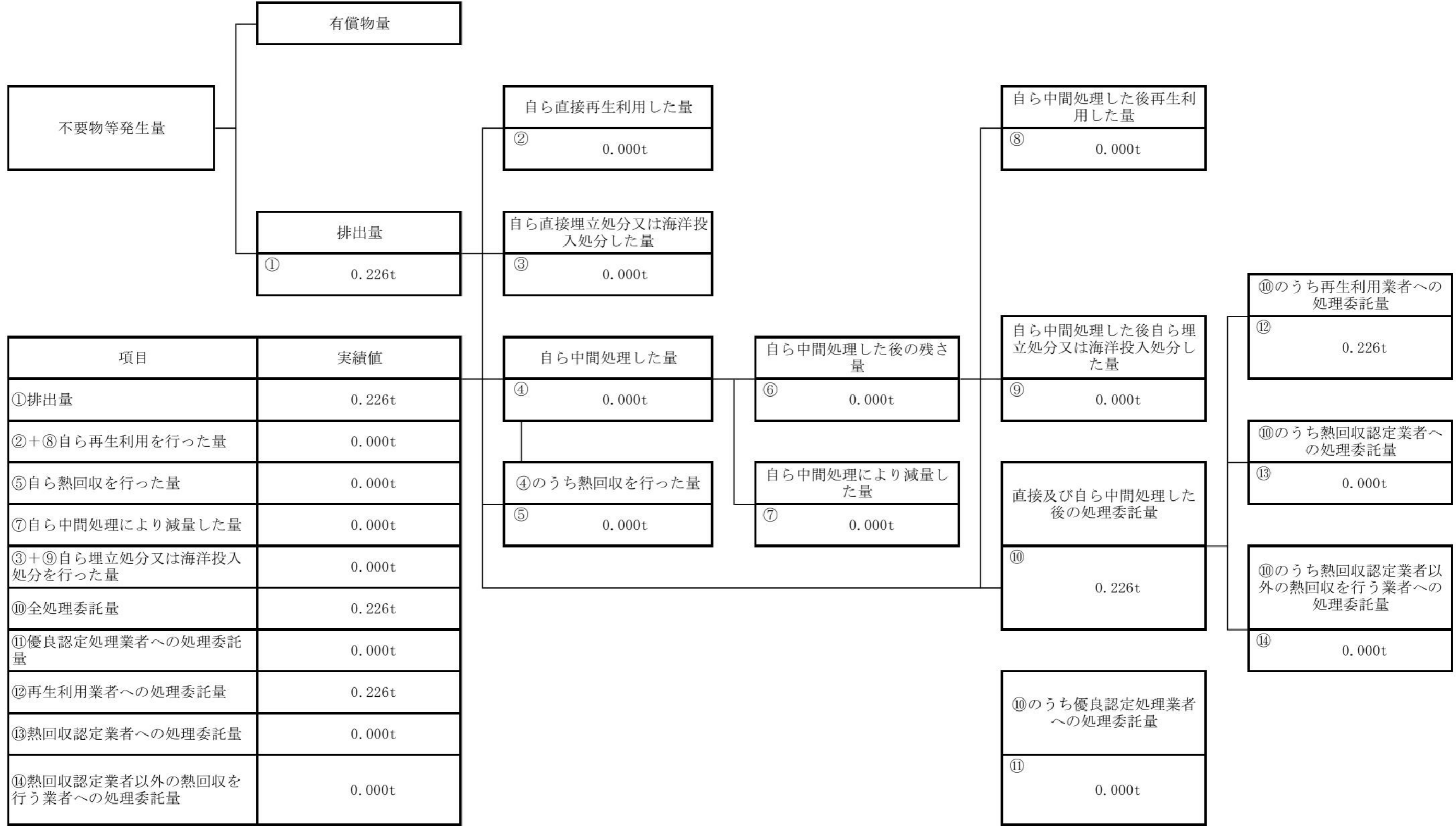
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 繊維くず )



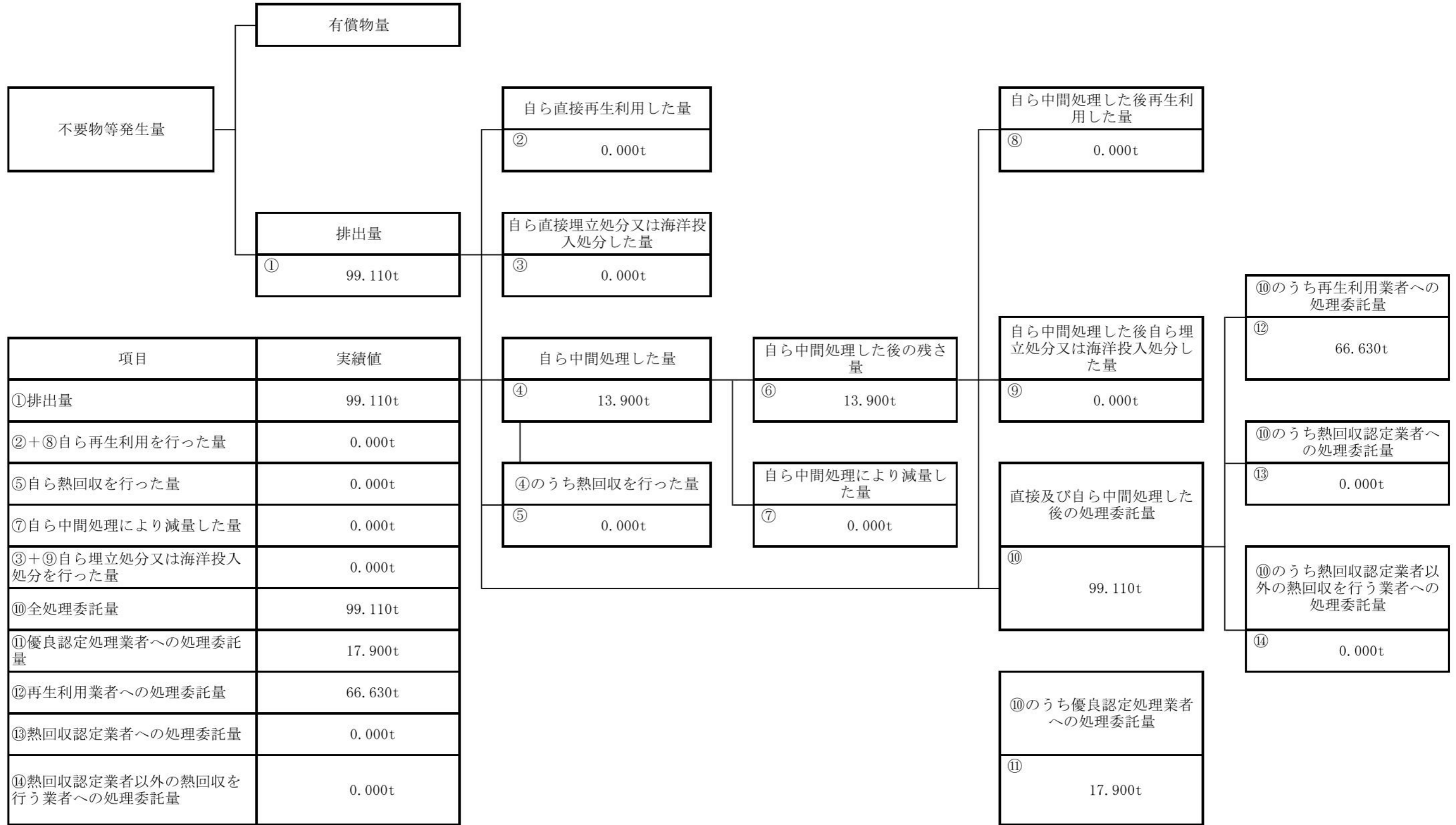
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 金属くず )



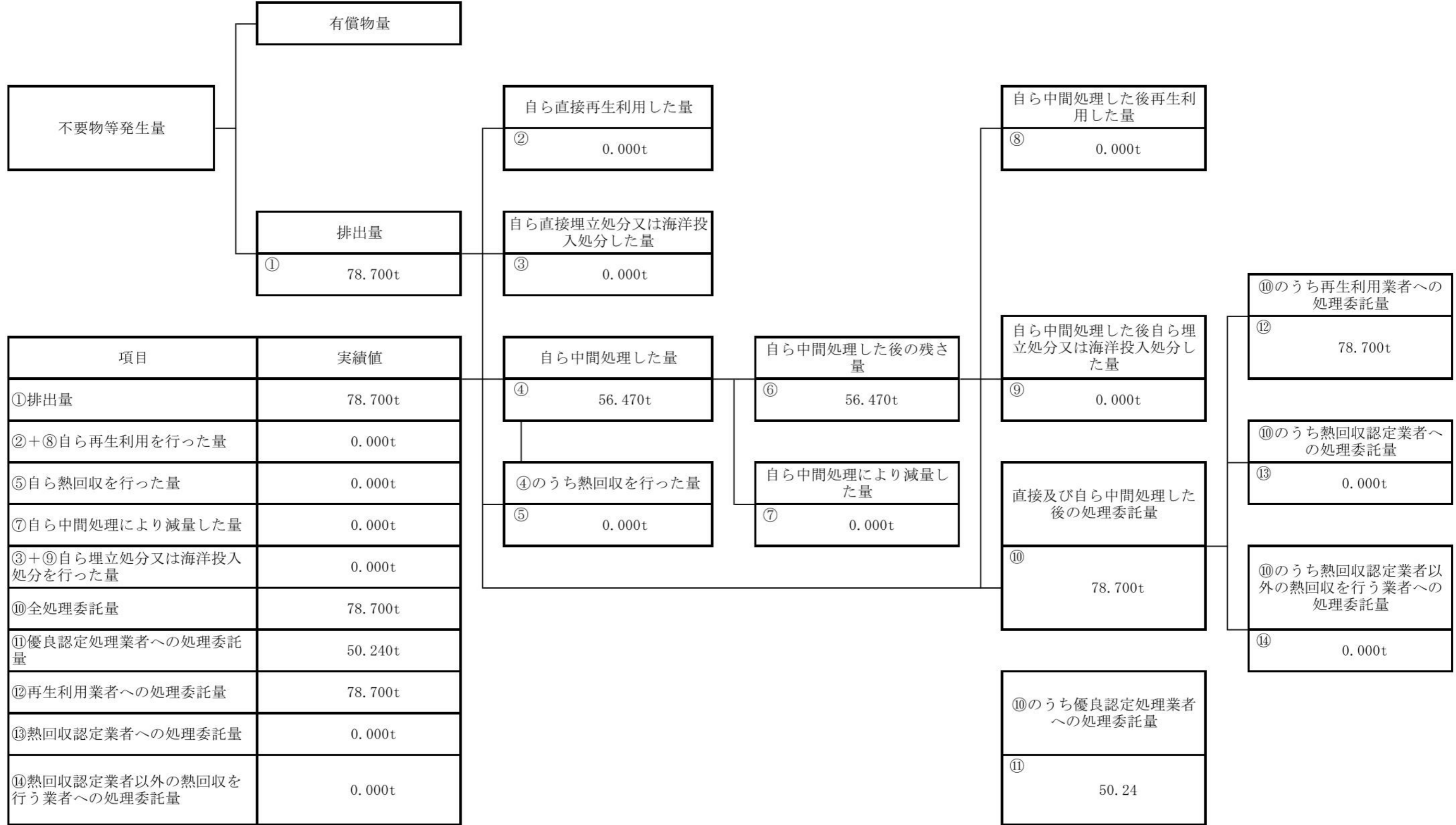
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 廃石膏ボード )

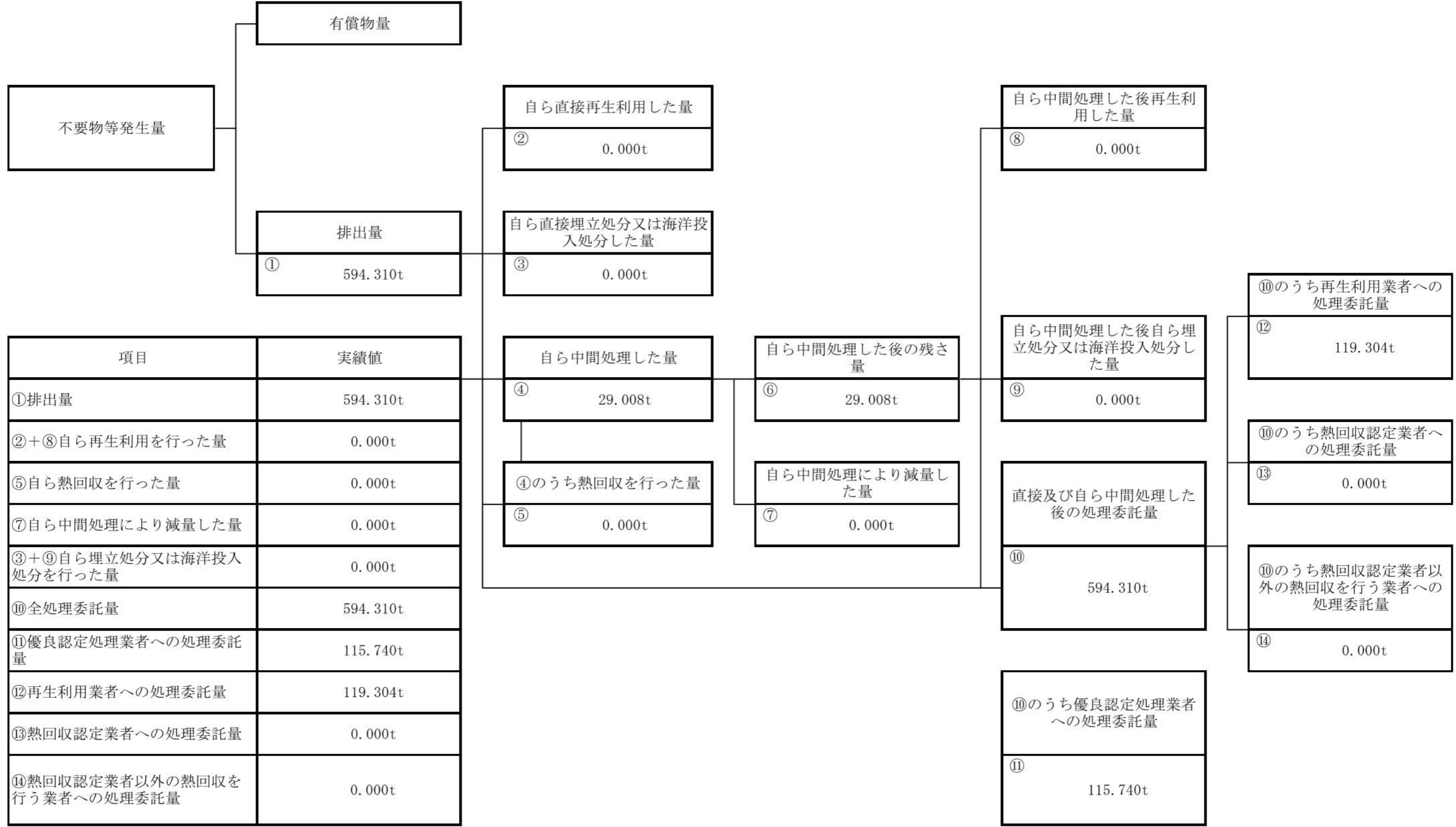


項目	実績値
①排出量	78.700t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	78.700t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	50.240t
⑫再生利用業者への処理委託量	78.700t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

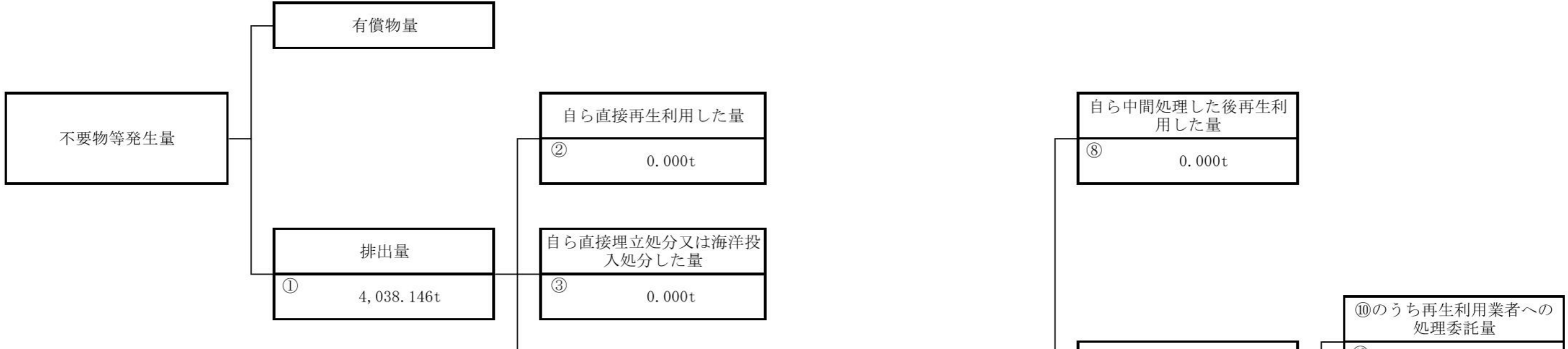


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : がれき類 )



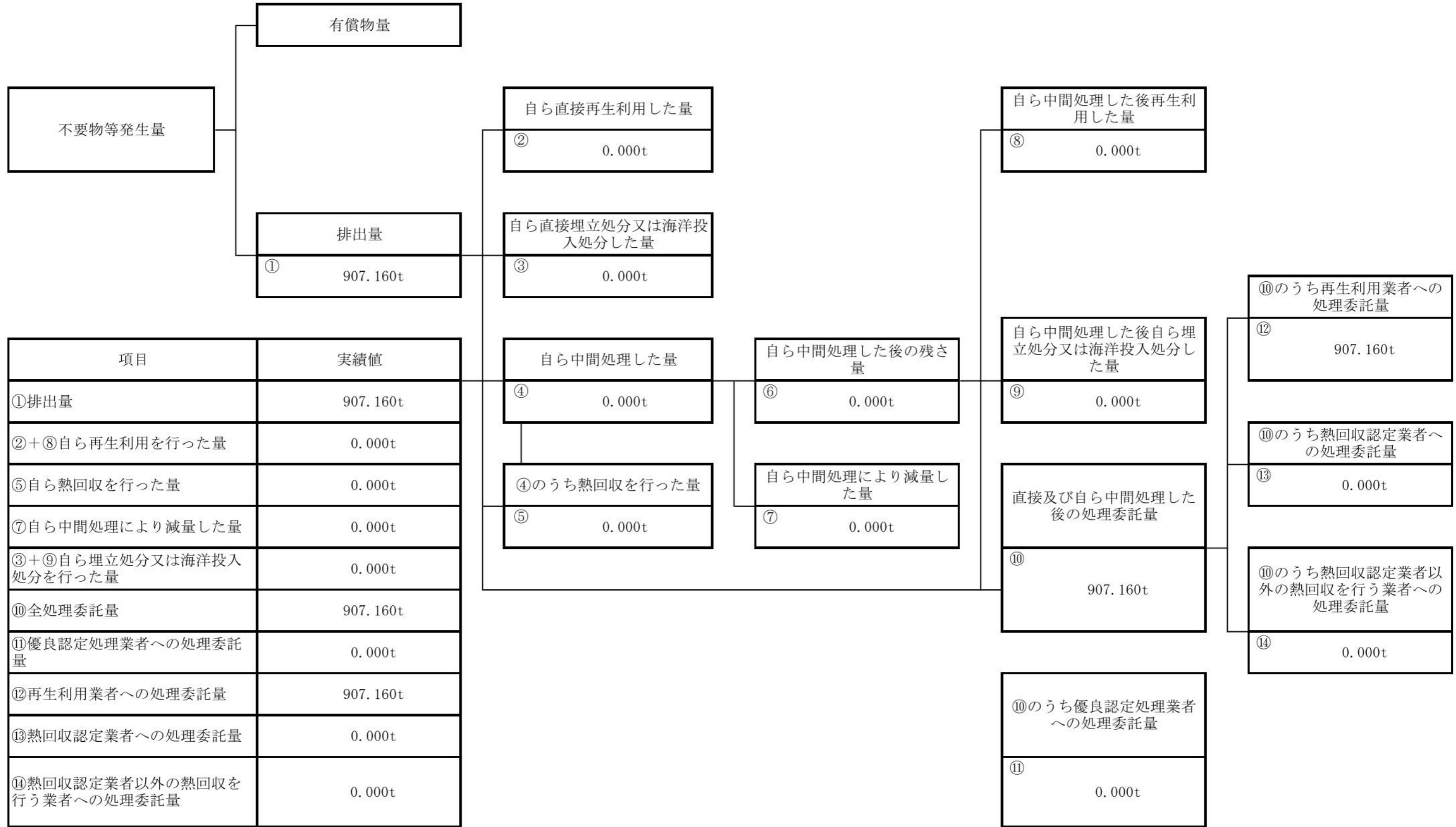
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類 : コンクリート破片 )



項目	実績値
①排出量	4,038.146t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	4,038.146t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	355.500t
⑫再生利用業者への処理委託量	4,038.146t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

計画の実施状況

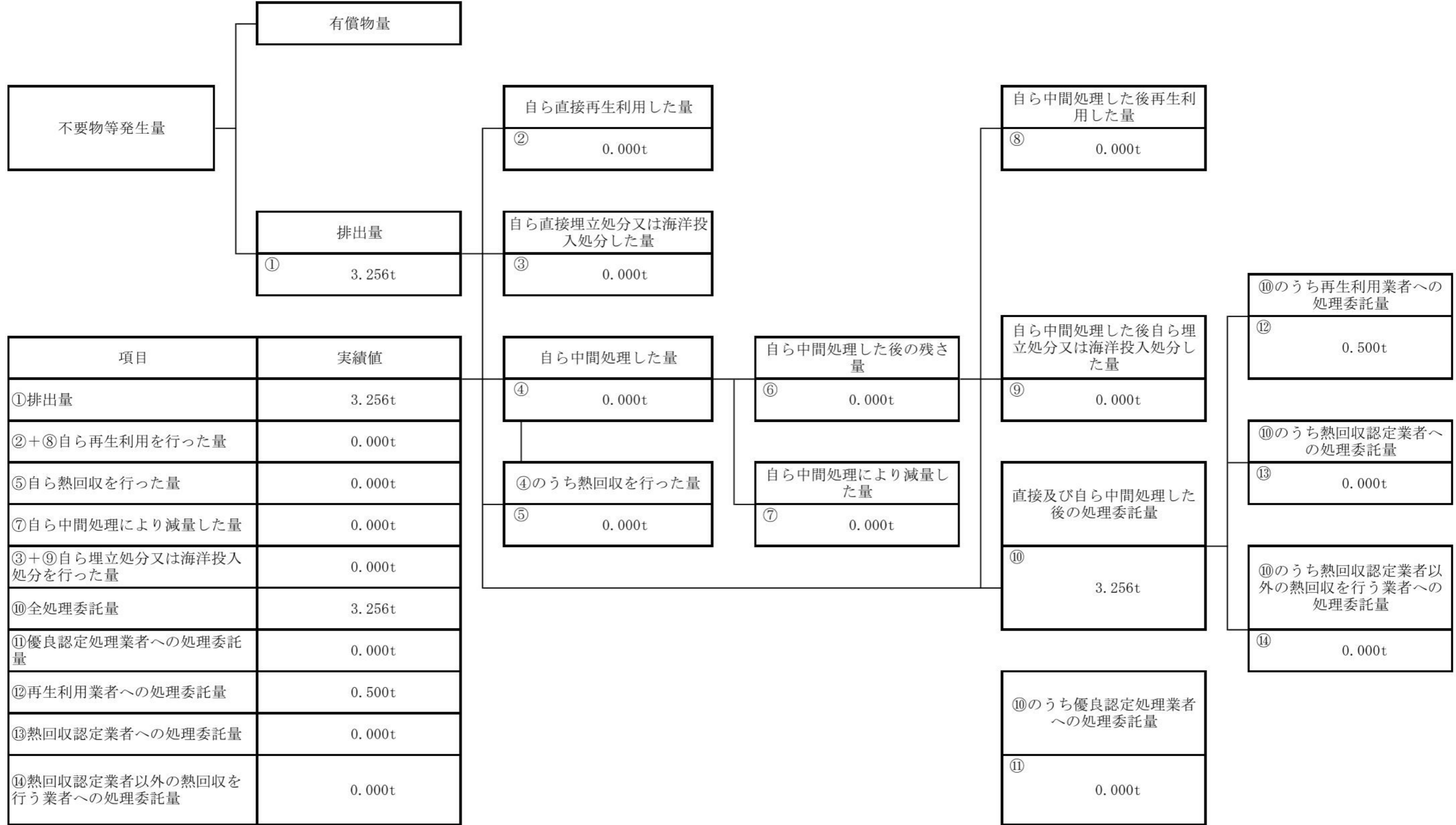
(産業廃棄物の種類 : アスファルト・コンクリート破片 )



項目	実績値
①排出量	907.160t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	907.160t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000t
⑫再生利用業者への処理委託量	907.160t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

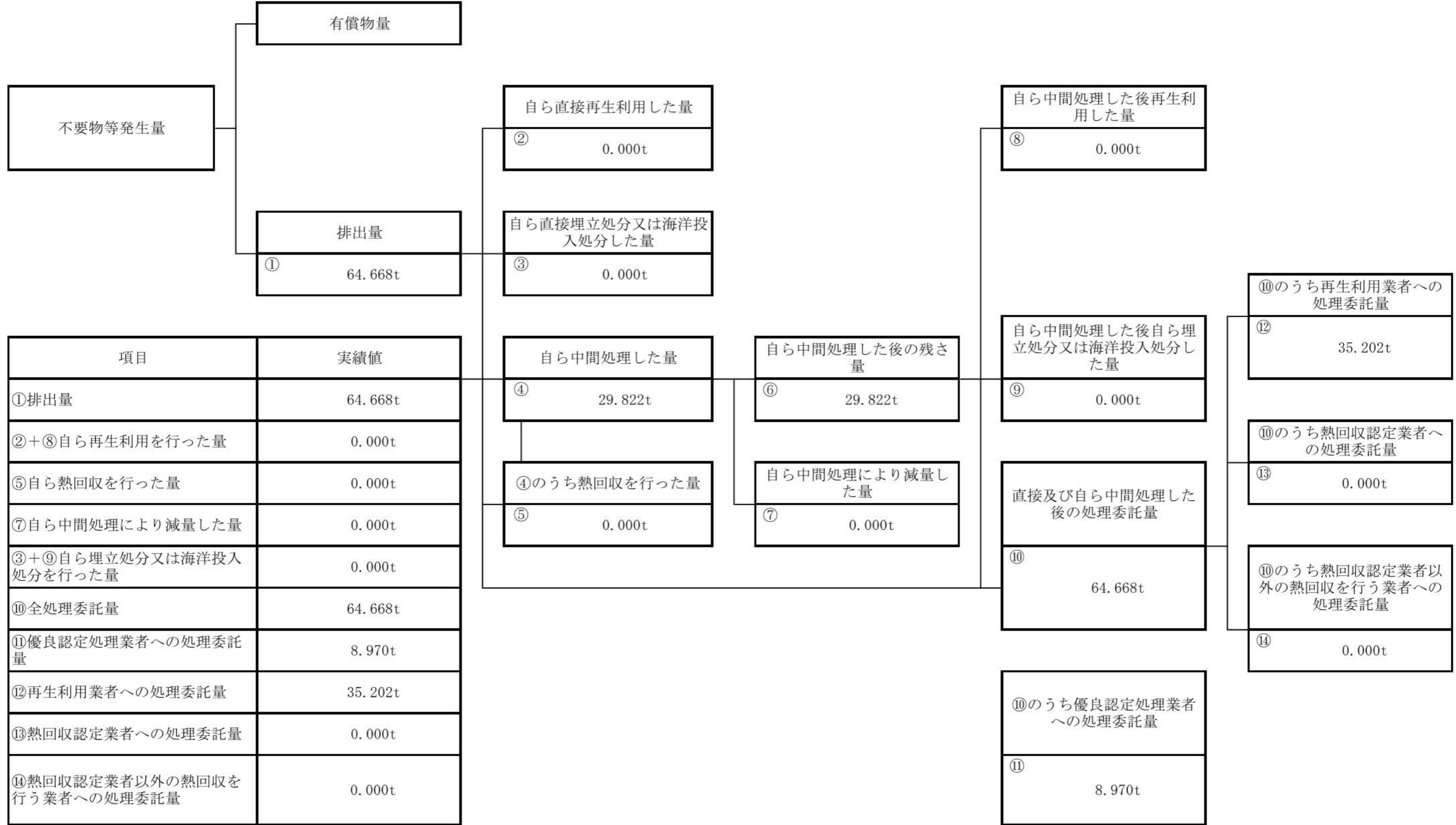
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 安定型建設混合廃棄物 )



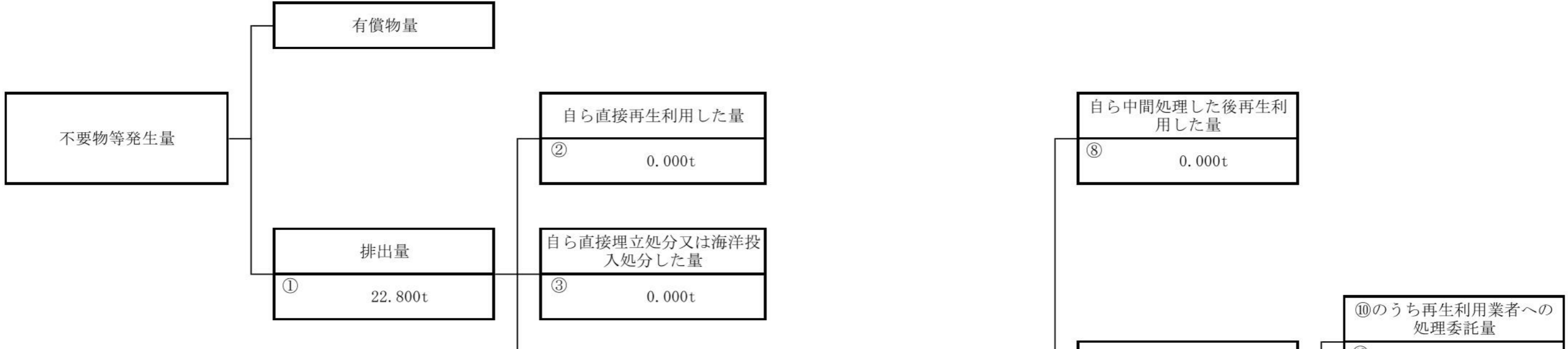
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 管理型建設混合廃棄物 )



項目	実績値
①排出量	64.668t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	64.668t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.970t
⑫再生利用業者への処理委託量	35.202t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

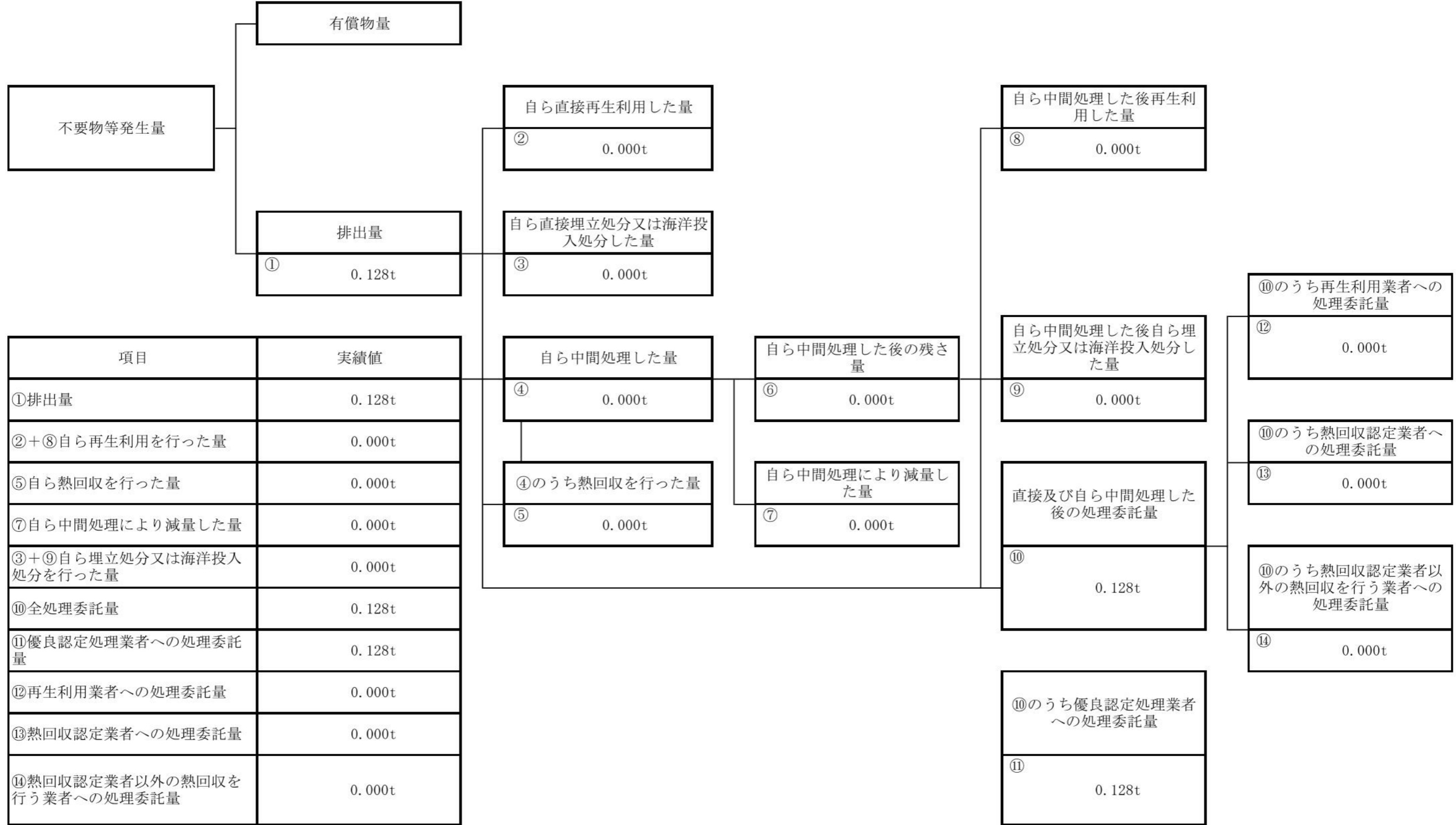
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類 : 燃え殻 )



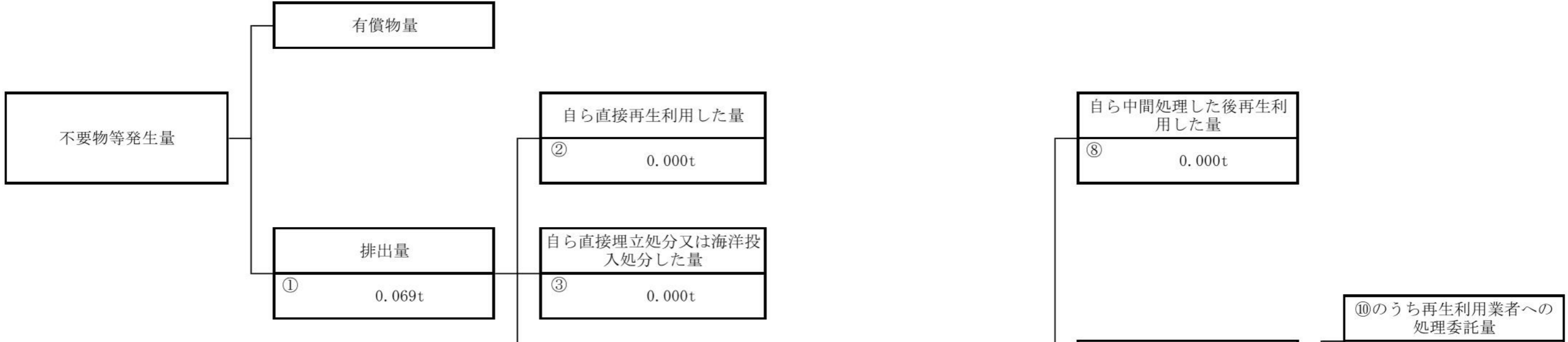
項目	実績値
①排出量	22.800t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	22.800t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.800t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 水銀使用製品産業廃棄物 )



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類 : 廃油 )

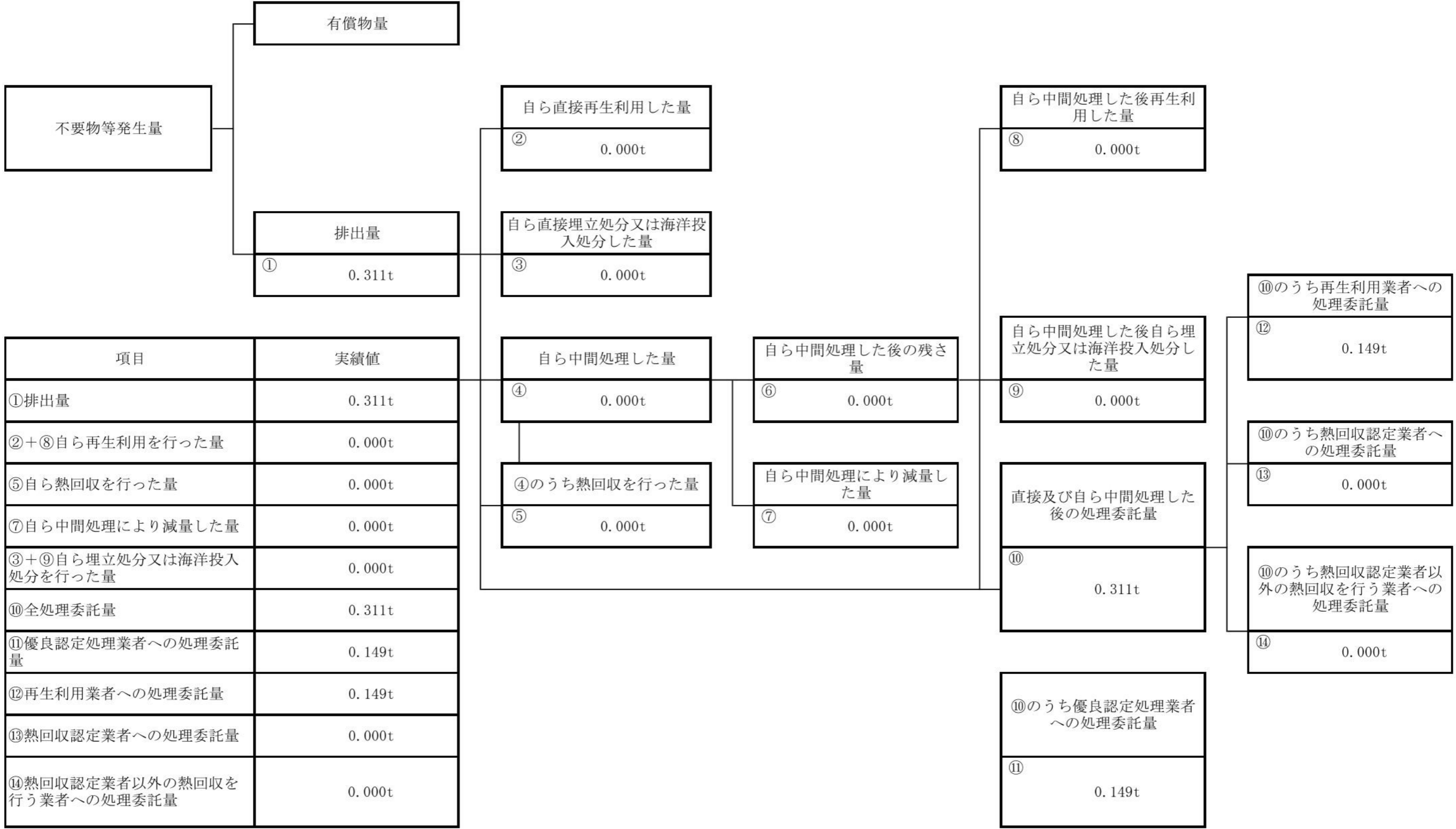


項目	実績値
①排出量	0.069t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	0.069t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.069t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.069t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

自ら直接再生利用した量 ② 0.000t	自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ 0.000t	自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧ 0.000t	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫ 0.069t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③ 0.000t	自ら中間処理により減量した量 ⑦ 0.000t	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.000t	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬ 0.000t
自ら中間処理した量 ④ 0.000t	④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.000t	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩ 0.069t	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭ 0.000t
		⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 0.069t	



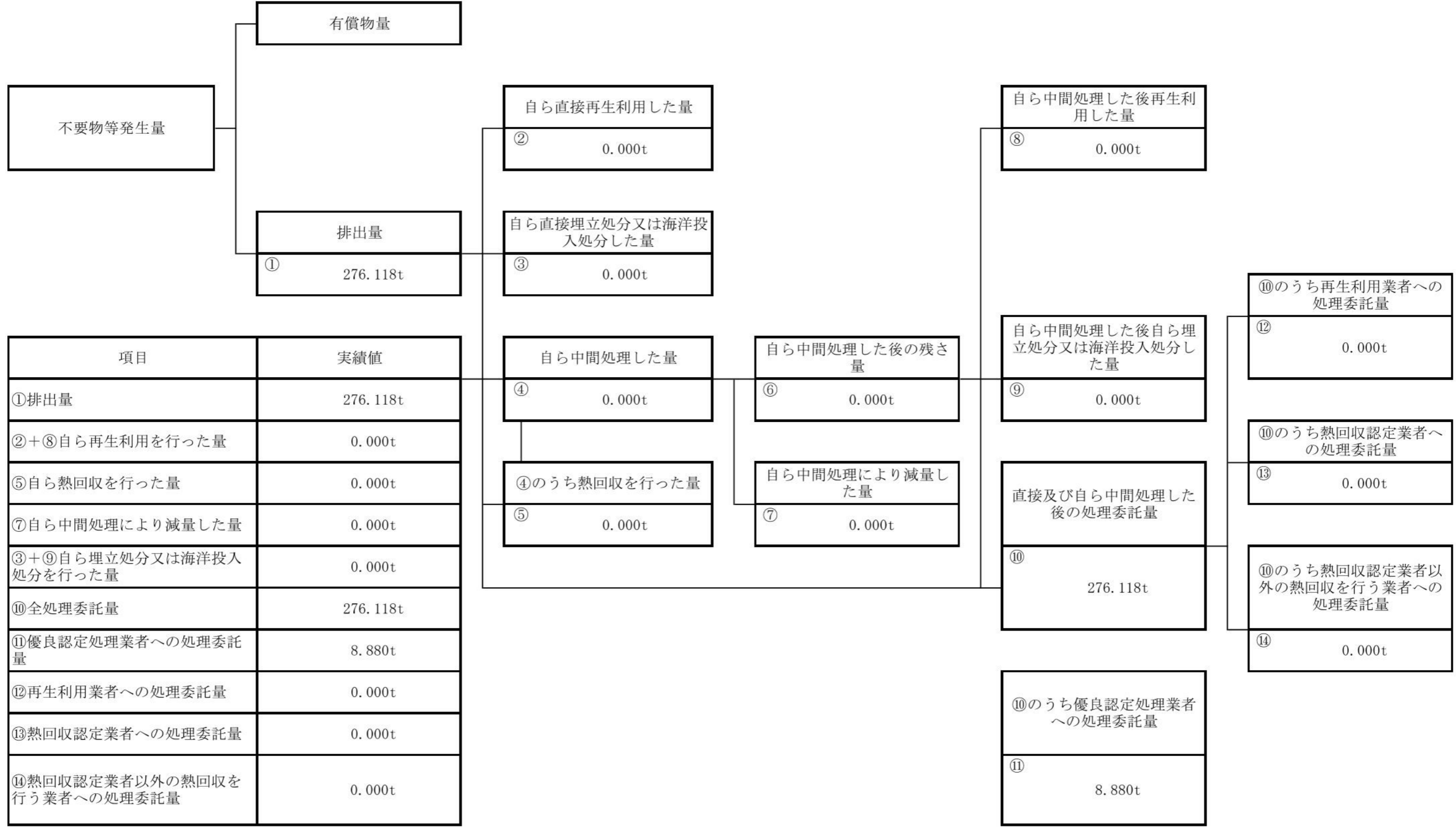
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類 : 汚泥 )



項目	実績値
①排出量	0.311t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	0.311t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.149t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.149t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 石綿含有産業廃棄物 )



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。